



第一礼拝次第

メッセージ: 郭永東牧師

前 奏
頌 栄
主の祈り
プレイズ
聖書朗読
祈 禱
賛 美
メッセージ
祈 禱
賛 美
聖 餐
献 金
報 告
頌 栄
祝 禱

5 4 0

「主の山に備えあり」

「あなたをたたえ」

ホセア書 10 : 12~15

(旧約聖書 p 1415)

新生 6

「新しい土地を耕せ」

新生 5 5 6

新生 6 7 2 b

会 衆
会 衆
会 衆
司 会
司 会
会 衆
牧 師
牧 師
会 衆
司 会
会 衆
牧 師

<巻頭言>

牧師 郭永東

2024 年が明けました。新年になると新しい抱負を抱きます。そして、その抱負の種類は様々です。抱負したすべてが実現することが望ましいですが、ほとんどは途中で挫折することになります。しかし、なぜ私たちは継続して新しい計画を立てるのでしょうか？それは、自分の生活に満足せず変わりたいという願望があるからです。より良い自分になるための努力だと考えています。そのため失敗しても再び挑戦しようとするのです。

私たちクリスチャンの信仰も同じです。現在の罪深い状態に満足せず新しくなりたいという願望が必要です。神に満ち溢れ、新しいものを望む心が 2024 年もっと大きくなることを願っています。今年一年、神とより深く関わり、以下の 3 つを考えてみたいと思います。

1. 2023 年以上に祈りの 2024 年 より集中して祈り、量的・質的にも優れた一年でありますように。祈りを通して神と対話し、神は祈る者に応えてくださるからです。(エレミヤ 33:3)
2. 神の言葉に耳を傾ける一年 祈りを通して神が私に対してどのような計画を持っているか尋ね、神の言葉に耳を傾ける一年でありますように。箴言 29:18 には「幻がなければ、民は墮落する」とあります。ここでの「幻」は神の言葉です。言葉なしでは私たちは生きていけません。
3. 神の道を学ぶ一年 神の道を学ぶことは神の知識を学ぶことだけではありません。神の性格にも似ていくことを意味します。マタイ 11:29 節では、キリストの性格が柔和で謙遜であると語られています。今年一年、キリストに似て、より柔和で謙遜になることを願っています。



第二礼拝次第

メッセージ: 渡真利彦文牧師

司 会: 伊禮信義先生

聖書: マルコ 6 : 30~44 (新約聖書 p72)

メッセージ: 「5 つのパンと 2 匹の魚」

プレイズ: 「鹿のように」 「御手の中で」

賛美: 新生 5 2 3 新生 5 7 0 頌栄 6 7 2



ファミリー礼拝

お話し: 渡真利千佳子姉

聖書: マタイの福音書 5 章 13~16 節

メッセージ: 「地の塩・世の光」